

施策：	04	スポーツの振興	財務コード	--
基本事業：	01	スポーツ施設の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	スポーツ施設満足度		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	スポーツ施設担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成17年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民			<p>【概要】市民の体力向上と水泳の振興を図るため、「筑紫野市立小学校プール開放の実施に関する規程」に基づき、夏季休業日における筑紫野市立小学校のプールを開放する。</p> <p>【開放施設】市内小学校11校のプール施設</p> <p>【開放日】夏季休業日のうち7月20日から8月9日まで（月曜日、学校行事がある場合は休場）</p> <p>【開放時間】午前10時から午後4時まで</p> <p>【利用料金】無料</p> <p>【運用体制】遊泳者の安全と施設の円滑な運営を図るためプール監視事業者に委託。プール監視員は、日本赤十字社認定の救急法基礎講習修了等の有資格者を配置する。</p>							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
市民の体力向上と健康増進、水泳の振興を図る										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標	
			実績	実績	当初	要求	計画	計画		
利用者数		人	11,671	12,068	18,000	15,000			18,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	22,082	24,798	26,059				
		国	千円	0	0	0				
		県	千円	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0				
一般	千円	22,082	24,798	26,059						
正職員人工数		人工	0.4	1	1					
正職員人件費		千円	3,126	8,023	8,381					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	25,208	32,821	34,440					
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている	状況 利用者数はコロナ禍以降は増加傾向ですが、大幅な増加には至っていない。 原因 猛暑の影響もあり屋外での利用を控えていることも要因の一つと考えられる。									
どちらかといえばあがっている	令和6年度 12,068人 令和5年度 11,671人									
あがっていない（停滞・低下）	令和4年度 8,895人（新型コロナウイルス感染症対策で人数制限を行う） 令和3年度 0人（新型コロナウイルス感染症拡大による「中止」のため） 令和2年度 0人（新型コロナウイルス感染症拡大による「中止」のため）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	熱中症警戒アラートが連日発令されており、水中でも熱中症の危険性が高まっているため、開催時間短縮等も含め、今後のプール開放事業の在り方について検討する余地はあります。						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
近年の利用者の時間毎の推移を分析しながら、開催期間や時間の見直しを含め今後のプール開放事業の在り方について検討する必要がある。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
代替市民プールとして平成17年度より事業開始。										